



歴史ある旧北陸線のトンネル群や廃線をサイクリング！

チーム⑤

敦賀は明治時代の初期、日本海側で初めて鉄道が開通し港と鉄道の街として発展。敦賀市周辺には旧北陸線トンネル群を中心とした鉄道遺産が多く残っている。これらの旧北陸線のトンネル群や廃線を活用したサービスを提供したい！

## ターゲット層：鉄道好き



新幹線延伸後の敦賀駅は高架駅。1階に在来線、2階はコンコース、3階が新幹線ホームと高さ最大37mと、整備新幹線の駅の中でも最大規模！既にyoutubeでも話題。乗り換えだけで素通りするのはもったいない！敦賀の鉄道の歴史を味わってほしい！多くの鉄道ファンも開業時には駅に訪れることが想定される。



### <参考>

京都鉄道博物館の令和元年度の入場者数は77.5万人  
新幹線延伸後、関西方面から北陸へのアクセスは短縮され、より敦賀へ来やすくなる。

# 旧北陸線トンネル群 敦賀市と南越前町に跨る鉄道遺構群



敦賀―今庄間には13基のトンネルが掘られ、そのうち11基が現在も残されています。  
「旧北陸本線トンネル群」は、近代化遺産として評価され、土木学会の選奨土木遺産に選定、また国の登録有形文化財にも登録されています。



# 廃線の活用

- 2009年（平成21年）に「敦賀駅」 - 「敦賀港駅」間は休止、2019年（平成31年）に正式に廃止。周辺には観光施設や観光地が点在することから、市民広場の整備にあわせた敦賀港線の活用も示されている。また敦賀港駅跡にはランプ小屋が保存されており、開業当時のランプ小屋を復元したものやパネルなどが展示されている。
- 「旧北陸線トンネル群」（福井県敦賀市、南越前町）は、現在の北陸トンネルが開通する昭和37年まで国鉄の幹線トンネルとして使用され、廃線後も地域の公道として利用されている。



# ルートとその所要時間

コース名	ルート	所要時間
EASYコース	敦賀駅 ↔ 檜曲トンネル (往復)	1時間
MEDIUMコース	敦賀駅 ↔ 杉津PA (往復)	3時間
HARDコース	敦賀駅 ↔ 湯尾駅 (往復)	5時間

## 説明

- ・利用者に合わせて3コース用意
- ・自転車を所定の位置に戻すため、すべて往復
- ・コースのクリアした方に記念写真をプレゼント

# アプリアイコン



まるてつのアイコンは電車モチーフのアイコンで、  
敦賀の市章のカラーを取り入れています



敦賀の市章

# アプリ概要

アプリを開いてトンネルにかざすと  
昔の機関車が走ります！！！！





# 鉄オタが喜ぶ駅弁開発

- ◆商品名 「北陸トンネル弁当」
- ◆売 価 1200円（税込）
- ◆製造者 (株)塩荘（敦賀市） 明治36年創業の駅弁製造業者
- ◆内 容 トンネルをイメージした駅弁。

塩荘の名物「鯛寿司」や敦賀名物である竹輪などを盛り込む



①トンネル名称	かしまがり ① 裡 曲 トンネル
②延長(m)	②87
③所在地	③敦賀市裡曲
④建築年代	④明治 26 年
写真	 北側坑門

- ◆特 典 旧北陸線のトンネル群（全13種）の掛け紙とカード入り

（最大の難所である木ノ芽峠を越えなければならなかった敦賀—今庄間に掘られた13基のトンネルのステッカー）